

第 63 回福島県農業賞受賞
影山 和雄様、美津江様が
受賞報告のため表敬訪問されます



ターゲット 2.4

令和 4 年 8 月 29 日

郡山市農林部

農業政策課

課長 和泉 伸雄

TEL : 924-2201

SDGs ターゲット 2.4 「持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。

第 63 回福島県農業賞を受賞されました郡山市の影山 和雄様、美津江様御夫妻が、受賞報告のため市長を表敬訪問されます。

- 1 日 時 令和 4 年 9 月 2 日(金) 午後 4 時 45 分
- 2 場 所 市役所庁議室（本庁舎 2 階）
- 3 訪問者 影山 和雄 ・ 美津江 様御夫妻（逢瀬町）
- 4 対応者 郡山市長、農林部長

〈受賞内容〉

受賞内容	第 63 回福島県農業賞 農業経営改善部門
経営内容	水稲（37 ヘクタール）、きゅうり（10 アール）
経営上の特徴	・当該経営体は、和雄氏、妻、長女の 3 名で水稲主体の大規模経営に取り組み、特に労働時間の削減に努め、自宅より半径 1.8k m 内にほぼ全てのほ場を集積し、8 系統の農道・水路単位でのほ場の集約化を図ることにより、移動時間や水管理時間を極力削減している。また、就農時より積極的に機械化を進めており、大型機械の導入による作業時間の短縮に努めている。導入する機械は将来に向けて常に能力に余裕のある機種を選定している。このような取組により、家族 3 名を中心とした労働力で 37ha の水稲と施設キュウリ 10a の経営を行っている
地域への貢献	・和雄氏は平成 30 年から市農業委員会の農地利用最適化推進員に就任し、これまでも個人的に取り組んできた地域での農地の流動化を公務として取り組んでいる。また、令和 3 年に作成された多田野地区の人・農地プランの作成にも、農地利用最適化推進員、担い手として積極的に関わっている。このような取組により多田野地区の水田では目立った遊休農地は発生していない。これまでの地域への貢献が評価され、平成 30 年には、J A 福島さくら地区担当理事に選任され、農業振興に貢献している。

〈福島県農業賞〉

福島県では、県内の農業者で農業経営の改善や集団活動に意欲的に取り組み、優れた成績をあげている経営体や集団を表彰しています。